暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

教 育 未 来 委 員 会 記 録

日	令和7年6月16日（月）（第2回定例会）				
時	午前10時0分 開議（ 休 憩 な し ） 午前11時28分 散会				
場 所	第4委員会室				
出席委員	阿 部 智	岡 崎 純 子	吉 川 英 二	渡 邊 惟 大	
	青 山 雅 紀	伊 藤 隆 広	松 坂 吉 則	麻 生 紀 雄	
	盛 田 眞 弓	宇留間 又衛門			
欠席委員	な し				
担当書記	市 場 涼 介 板 屋 美 穂				
説 明 員	こども未来局				
	こども未来局局长	大町 克己	こども未来部長	山口 美登里	
	幼児教育・保育部長	小名木 啓一	こども企画課長	高澤 賢一	
	幼保支援課長	上田 昌弘	幼保運営課長	小林 崇	
	総括主幹	下川 華揚子			
	教育委員会				
	教育長	鶴岡 克彦	教育次長	中島 千恵	
	教育総務部長	西 公厚	生涯学習部長	大塚 暁	
	総務課長	山田 利雄	学校施設課長	大久保 智之	
	生涯学習振興課長	志保澤 剛	総括主幹	石毛 実	
	審査案件	議案第71号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第1号）中所管 議案第76号・千葉市新日本建設・金綱一男こども若者育英基金条例の制定について 議案第85号・千葉市生涯学習センター設置管理条例の一部改正について			
	協議案件	年間調査テーマの設定について 委員会視察について			
その他	委員席の指定				
委 員 長 阿 部 智					

午前10時0分開議

○委員長（阿部 智君） おはようございます。
ただいまから、教育未来委員会を開きます。

委員席の指定

○委員長（阿部 智君） 委員席につきましては、ただいまお座りの席を指定したいと思いますので、御了承願います。

本日審査を行います案件は、議案3件でございます。

お手元に配付しております進め方の順序に従って進めてまいります。

なお、第3次議会運営活性化推進協議会において、議案等審査時の質疑と賛否表明、意見要望の発言場面の分割につきましては、試行を継続する位置づけで、今後も同様の取組を続けることが決定されております。

このため、当局から議案説明を聴取した後、まず、質疑のみを行っていただき、質疑を行う委員の発言が全て終了した後に、おおむね3分以内で賛否表明、意見要望に関する発言をお願いいたします。

また、案件審査終了後も、年間調査テーマ、委員会視察についての協議も予定しておりますので、よろしくをお願いいたします。

傍聴者の皆様に申し上げます。委員会傍聴に当たりましては、委員会傍聴証に記載の注意事項を遵守いただきますよう、お願いいたします。

議案第71号審査

○委員長（阿部 智君） それでは、案件審査を行います。

初めに、議案第71号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第1号）中所管についてを議題といたします。

委員の皆様は、サイドブックのしおり1番、こども未来局の議案説明資料をお開きください。

それでは、当局の御説明をお願いいたします。それでは、幼児教育・保育部長。

○幼児教育・保育部長 おはようございます。幼児教育・保育部の小名木でございます。よろしくをお願いいたします。恐れ入りますが、着座にて御説明させていただきます。

議案第71号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第1号）のうち、所管について御説明させていただきます。

こども未来局議案説明資料の3ページをお願いいたします。

1、保育料の負担軽減対策、多子軽減の拡充について御説明させていただきます。

初めに、1、補正理由でございますが、多子世帯の保育料に関しまして、現時点におきましては、本市は国基準に沿った軽減を実施しております。

恐れ入りますが、下の米印の部分を御覧願います。

記載してございますとおり、3歳以上児につきましては、条件を問わず、保育料は無償、認可外保育施設等については、上限額までの助成となっております。

恐れ入りますが、1、補正理由の1行目の文末に戻らせていただきまして、3歳以上児に對しまして、3歳未満児に関しましては、未就学児童のみを対象児童数としてカウントする年齢要件や、きょうだい認可保育施設等に同時に入所している必要があることという要件があることによりまして、不合理な格差が生じておりますほか、低所得世帯等におきましては、既に年齢要件等が撤廃されていることなど、所得による格差も生じている状況でございます。

こうした状況を早急に解消するとともに、子育て世帯の経済的負担を支援し、子育てしやすい環境を整えることを目的といたしまして、保育料の多子世帯の軽減対策を拡充するための経費を見積もるものでございます。

次に、2、実施内容でございますが、まず、(1)対象児童につきましては、所得制限や年齢制限を撤廃いたしまして、世帯の所得やきょうだいの年齢差、保育施設等に同時に入所しているか否かを問わず、保育の必要性があり、かつ、生計を同一にしている世帯の第2子以降の児童を多子軽減の対象児童といたします。

次に、(2)負担軽減対策の内容といたしましては、まず、ア、認可保育施設における、多子世帯の保育料につきましては、所得制限や年齢制限等を撤廃し、第2子を半額、第3子以降を無償とするものでございます。

次に、イ、認可外保育施設におきましては、幼児教育・保育無償化制度の対象ではない3歳未満児の利用児童のうち、多子世帯につきましては、アの認可保育施設と同様の負担軽減が図れますよう、幼児教育・保育無償化制度に準拠した償還払いによる補助を実施するものでございます。

なお、補助上限額は施設類型等により異なりますが、一例といたしまして、本市が認定しております保育ルームの利用者の助成額の上限額を記載しております。

次に、ウ、幼稚園、認定こども園の預かり保育におきましては、幼児教育・保育無償化制度の対象ではない満3歳児の利用児童のうち、多子世帯につきましては、アと同様の負担軽減が図れますよう、幼児教育・保育無償化制度に準拠した償還払いによる補助を実施するものでございます。

なお、補助上限額は、幼稚園、認定こども園のいずれでも同じとなっております、記載のとおりでございます。

次のページをお願いいたします。

3、補正予算額でございますが、多子世帯の保育料負担を軽減する際、予算額といたしましては、歳出予算の増と歳入予算の減の2つの側面がございます。

まず、歳出予算は1億150万円の増でございますが、内訳といたしましては、認可保育施設のうち、小規模保育事業所等の保育施設と、直接契約を締結して利用する施設における保育料が減額となることに伴いまして、当該施設への給付費を増額する必要がありますことや、認可外保育施設を利用した児童の保育料を助成するために要する経費などがございます。

次に、歳入予算は2億1,963万2,000円の減でございますが、内訳といたしましては、負担軽減対策を実施することによりまして、市の保育料収入が減額になることによるものでございまして、公立と民間それぞれの影響額を記載させていただいております。

なお、これらの歳出予算の増と歳入予算の減を合わせました3億2,113万2,000円の財源は、全て一般財源でございます。

最後に、4、今後の予定でございますが、令和7年7月中に市民及び各園へ周知いたしまして、8月以降、制度改正作業を行い、9月から拡充後の多子軽減対策の運用を開始する予定でございます。

以下は参考といたしまして、参考1は、年齢要件による格差のイメージを、参考2は、認可保育施設における拡充前と拡充後の制度内容の比較を、参考3は、認可保育施設における年収360万円未満の低所得世帯等への負担軽減策をそれぞれ記載させていただいておりますので、御覧いただければと存じます。

幼児教育・保育部の補正予算に係る説明は、以上でございます。

○委員長（阿部 智君） こども未来部長。

○こども未来部長 おはようございます。こども未来部、山口でございます。恐れ入りますが、着座にて御説明させていただきます。

議案第71号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第1号）のうち、所管について御説明をいたします。

こども未来局議案説明資料の7ページをお願いいたします。

千葉市新日本建設・金綱一男こども若者育英基金積立金事業について御説明させていただきます。

1、補正理由ですが、公益財団法人新日育英奨学会理事長の金綱一男氏より、財団で保有する基本財産と個人所有の財産を市に寄附し、家庭環境その他困難な状況にある子供や若者を支援するために、また、子供や若者の可能性を広げるために有効に活用していただきたいとの大変ありがたい申し出を受けまして、新たな基金を創設し、市の積立金と合わせまして、寄附金等を積み立てますことから、所要の経費を補正予算として計上するものでございます。

2、補正予算額ですが、積立金16億6,732万5,000円で、財源は記載のとおりでございます。

続きまして、3、補正内容ですが、金綱一男氏から受けた寄附金額が15億円、金綱一男氏からの寄附金の1割を市から積み立てる額として1億5,000万円、それらを積み立てた基金から生ずる収益金額が1,732万5,000円となっております。

4、基金の概要でございます。寄附を受ける株式の評価額を含み、総額50億円程度の財産を目標として基金を設置するものでございます。

まず、(1)基金の内訳でございますが、①として、市からの積立金が5億円。続きまして、公益財団法人新日育英奨学会から寄附を受ける新日本建設株式会社の株式が170万株。こちらは、昨年度末の時価評価額ですと約27億円となっております。さらに、③といたしまして、金綱一男氏個人からの寄附金として、6月に積み立てる寄附金に加え、財団から御寄附いただく新日本建設株式会社の株式評価額と合わせて30億円に達するまでの金額となっております。

(2)基金の運用方法についてでございますが、資金を積み立て、基本的には元金を取り崩すことなく、そこから生ずる収益金を財源に充てて事業に活用するものでございます。

次のページをお願いいたします。

(3)今後の予定についてでございますが、令和7年度末までに、金綱一男氏個人からの寄附金及び新日育英奨学会からの株式を受け入れ、積み立てますとともに、市から3億5,000万円を積み立てる予定でございます。

その後、令和8年度以降につきましては、基金の収益金を活用した事業を令和8年度に開始

してまいりますとともに、株式の配当金を受け入れ、積み立てる予定でございます。

また、公益財団法人新日育英奨学会の解散時には、保有する残余財産を寄附金として受け入れ、積み立てる予定でございます。

こども未来局の補正予算に係る説明は、以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（阿部 智君） 教育総務部長。

○教育総務部長 教育総務部でございます。よろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

議案第71号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第1号）中所管、学校体育館冷暖房設備整備につきまして、教育委員会の議案説明資料により御説明いたします。

議案説明資料の3ページをお願いいたします。

1、学校体育館冷暖房設備整備の（1）債務負担行為の設定につきまして、ア、補正理由ですが、学校体育館の冷暖房設備整備に係る実施設計等について、委託期間の平準化により入札不調リスクを抑制するため、当初予算の30校分と補正予算の24校分、合計54校分の契約を本年度中に前倒して締結し、可能な限り早期に学校体育館冷暖房設備整備を進めるために、令和8年度までの債務負担行為を設定するものであります。

イ、補正内容ですが、限度額は1億464万円で、内容等は記載のとおりでございます。

教育委員会の補正予算に係る説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

これより質疑に入りますが、委員改選後初めての案件審査となりますことから、委員の皆様へ申し上げます。

御質疑等に当たりましては、最初一括か一問一答か、質問方法を述べていただくほか、一問一答の場合は、答弁を含めおおむね30分以内でお願いいたします。

それでは、質疑がございましたらお願いいたします。吉川委員。

○委員（吉川英二君） 一問一答です。よろしくお願ひします。簡潔にいきたいと思います。

まず、こども未来局です。多子軽減の拡充です。

まず、今回想定される対象人数について教えてください。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

今回の制度拡充によりまして、新たに保育料の軽減対象となる児童数につきましては、認可保育施設、認可外保育施設、それと幼稚園等の預かり保育等を合わせまして、約2,000人を見込んでおります。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

次に、同じく多子軽減の部分で、今回、第2子は基準額の2分の1、第3子は無料となっているのですが、ちなみに第2子以降の無償化をしている政令都市について教えてください。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

第2子以降を無償としている政令指定都市につきましては、札幌市、静岡市、京都市、大阪市、堺市、北九州市、それと福岡市、以上の7市でございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

では、同じく第2子以降の無償化をしている県内の市町村について教えてください。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

本市が把握している中でございますけれども、第2子以降を無償としている県内自治体は、市川市、市原市の2市でございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

引き続き、多子軽減で制限撤廃をしている本市以外の政令指定都市を教えてください。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

年齢要件等の制限を撤廃いたしまして、第2子を半額、第3子以降を無償としている政令指定都市につきましては、川崎市、浜松市、神戸市、広島市の以上4市でございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

引き続き、同じく制限撤廃している本市以外の県内市町村について教えてください。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

本市が把握している中でございますけれども、年齢要件等の制限を撤廃いたしまして、第2子を半額、第3子以降を無償としている近隣の自治体は、船橋市と浦安市の2市でございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

そうしましたら、次、今回対象者のカウント、確認方法について教えてください。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

確認方法につきましては、まず、認可保育施設につきましては、別居しているものの生計が同一であるといったような例外的なきょうだい児がいる場合を除きまして、本市のシステムにより、入所状況や世帯状況のほうを確認させていただきたいと考えております。

これに対しまして、認可外保育施設や幼稚園等の預かり保育を御利用の方につきましては、保護者と施設が直接契約を交わしておりまして、市のほうでは、リアルタイムでの利用状況、

入所状況というものの把握が困難でありますので、こちらにつきましては保護者の方に申請を行っていただきまして、保育の必要性や施設の利用状況を確認させていただきたいと考えております。

なお、世帯状況や課税状況につきましては、保護者の方の同意の下で、本市のシステムによる確認を行うこととさせていただきまして、手続による負担の軽減を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

次に、これは第1子なのですけれども、結構多いのが、高校までは当然住民票があるケースはあるのですけれども、大学生になって住民票が本市にない場合は、どのような対応をするか教えてください。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

制度の対象児童につきましては、子ども・子育て支援法の施行令に定義されております特定被監護者等という定義の中に該当する場合と考えておまして、特定被監護者等には、現に保護者に監護されている児童の方以外にも、別居している大学生等であっても、保護者の方と生計を同一にしている場合には含まれることになっております。

なお、ただ住民票が本市にない場合につきましては、本市のシステム上で世帯状況、きょうだい児であるかどうかを確認できないことから、別途この方につきましては、御申請をいただきまして、仕送り等の状況から、生計が同一であることを確認させていただきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） 多子軽減のところでは最後になります。

確認になりますけれども、カウントから外れるのは、要は扶養から外れた場合ということでよろしいでしょうか。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

カウント対象は、先ほど申し上げましたように、生計が同一であることが要件でございますので、対象から外れることとなる事由は、多くの場合につきましては、今、委員御指摘のとおり、経済的に独立し、扶養から外れるようなケースであると考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

では、次に、新日本建設基金のほうに移ります。

今回、ありがたいお申し出を頂いておりますが、金綱一男氏の簡単な経歴について教えてください。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

昭和39年に金綱工務店を引き継ぎまして、有限会社金綱工務店を千葉市中央区に設立されました。新日本建設株式会社を平成6年に東京証券取引所市場第二部、そして、平成14年には同第一部に上場させ、平成25年に新日本建設株式会社の代表取締役会長に御就任されました。

その後、令和元年度からは代表権のない取締役会長に就任されまして、現在に至っております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

最後に、今まで新日育英奨学会の給付型奨学金をやっていたということなのですから、この給付型奨学金の実績について教えてください。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

本市と協定を締結しております給付型の奨学金制度でございますけれども、これまで合計36人に奨学金が給付されております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） ありがとうございます。

そうしましたら、次に学校体育館の件で、1点だけ確認です。

今回の追加措置によりまして、全体の何%の進捗になるのか、また、今後の進捗予定について教えてください。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 学校施設課でございます。

今回追加した24件分と、あと当初予算の30校分を合わせた54校について、令和8年度、来年度中に設計を終えた場合は、それまでに完了している設計と合わせて113校になります。

これによって、整備予定校数が167校になっておりますので、それに対する設計の進捗率は約67%となります。

今後の予定なのですけれども、来年度末までの2年間で、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の全校で整備を完了する予定でございます。

小学校につきましては、令和9年度から順次整備を開始して、当初から1年前倒しした令和11年度までに、全校整備の完了を目指しつつ、さらなる前倒しについても、引き続き検討しております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） 以上でございます。ありがとうございます。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませつか。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 一問一答でお願いいたします。

多子軽減についてですけれども、国制度については先ほどお話がありましたので、特に大丈夫です。

市独自の軽減策によって、今回必要となる経費がどう変わるのか、伺います。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

今回の制度改正に伴いまして、負担軽減策を実施することで、市の歳入となります保育料収入が減となることに加えまして、市小規模保育事業等の直接契約施設の保育料収入を補うための歳出増のほか、新たに制度を開始いたします認可外保育施設や幼稚園等の預かり保育の費用助成の経費が必要となりまして、一般財源としては年間約6億円の増と見込んでおります。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 今後の保育料の負担軽減策についてお伺いいたしたいと思えます。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

今後、さらなる負担軽減策を実施する場合につきましては、実施に当たりましてさらに多額の財源を要するため、既存事業の廃止、見直しを含めた財源確保が必要となってくることから、他の事業への影響を勘案しながら、実施の是非を検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） ありがとうございます。

次に、基金のことについて伺いたいと思えます。

補正金額が16億6,732万5,000円ということで、非常に細かい数字まで出ていますが、今一度、御説明をお願いいたしたいと思えます。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

全額積立金でございまして、内訳につきましては、金綱一男氏からの寄附金が15億円、そして、市からの積立金が1億5,000万円、それらを積み立てた基金から生ずる収益金でございませけれども、こちらが1,732万5,000円でございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 今回申し出をいただいて、寄附をされるということになっていると思えますが、寄附に至るまでの経過、それから、千葉市の基金として積み立てる意向を示された理由について分かればお願いします。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

寄附に至る経過ですが、公益財団法人新日育英奨学会では、給付型の奨学金制度を設けまして、優秀でありながら経済的な理由により学業を継続することが難しい若者を支援してきましたが、公的支援制度の充実が見込まれる中、財団の設立意義が達成されつつあることから、本市で子供、若者の支援に活用してほしいと、財団で保有する基本財産と金綱氏個人の所有財産を寄附していただくこととなりました。

市に寄附される理由ですけれども、本年4月のこども・若者基本条例の施行に伴いまして、

子供や若者に関する施策に積極的に取り組む市の姿勢を評価していただくとともに、取組の方向性に共感をしていただいたと伺っております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） ありがとうございます。

学校体育館のほうを少し質問させていただきます。今回追加となります24校の小学校ですけれども、実際に工事の時期が早まるのかの確認をしたいと思います。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 学校施設課でございます。

当初予算の30校に今回の24校を加えた54校なのですけれども、来年度に設計を行いまして、令和9年度の1年間で整備を完了させることを目指しております。

入札等の手続が順調に進めば、今回追加される24校については、整備の期間が1年間早まるものと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 24校の対象となる小学校について、優先順位の考え方などありましたらお願いします。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 学校施設課でございます。

整備校数の区ごとのバランスや、児童数が多い学校、あるいは防災などの観点から総合的に判断して、今後対象校を選定していく予定としております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 残りの学校についての冷暖房設備の設置の時期の見通しについて伺います。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 学校施設課でございます。

小学校の108校は、令和9年度から整備を開始しまして、令和11年度までに全校の整備を目指すとともに、さらなる前倒しについても引き続き検討することとしております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） ありがとうございます。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 一問一答でお願いします。

では、保育料の負担軽減対策についてなのですけれども、こちらは認可外保育園、または幼稚園、認定こども園においては、償還払いということなのですけれども、申請方法について伺えればと思います。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

認可外保育施設等、幼稚園等の預かり保育につきましては、先ほど申し上げたとおり、利用状況を市が把握しておりませんので、まず、施設を利用している状況や利用日数等を保護者の方から申請していただきまして、それに対して、我々のほうで世帯状況等の確認を含めて審査を行った上で、償還払いでお支払いしたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） ありがとうございます。

それは紙での申請ですか。それともシステムなのでしょう。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

基本的には今、3歳以上児の無償化の償還払いを、紙での持参もしくは郵送のほうでさせていただいております。同じ形で実施させていただきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 分かりました。ありがとうございます。

4ページの歳出のところで、事務委託料が200万円計上されているのですけれども、これはどのような内容で、どちらに委託をする形になるのでしょうか。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

こちらにつきましては、もともと我々幼児教育保育部のほうで、書類の一時的な審査、不備がないか、必須入力項目に漏れがないかの確認を事務委託という形で行っておりまして、今回の償還払いにつきましても、一定数の申請数が見込まれますので、事務負担の軽減のためにも、そういった形で機械的な審査に関しては、委託を行いたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） ありがとうございます。ちなみに、どちらに委託されますか。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

今現在もともと実施しております事務委託が、パソナ株式会社（後に「株式会社パソナ」と訂正）のほうに委託しておりまして、今回の案件に関しても同様と考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 御説明ありがとうございます。

では、次に、金綱一男こども若者育英基金積立金事業に関してです。

市からの積立金が5億円となっているのですけれども、5億円とした背景、根拠、そういったものがあれば伺えればと思います。

○委員長（阿部 智君） こども企画課、高澤課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

市の拠出金を1割の5億円とした理由ですけれども、まず、千葉市は、こども・若者施策に

力を入れて取り組んでおりまして、金網氏の御意向に賛同して1割という拠出金を支出することにしたものでございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 分かりました。ありがとうございます。

では、次、教育委員会のほうの学校体育館冷暖房設備について、1点だけ質問です。

入札不調リスクを抑制するためということであるのですけれども、今のところ中学校等の冷暖房設備については、入札等は順調に進んでいるのか、伺えればと思います。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 学校施設課でございます。

小学校の入札については、今回の補正を合わせた54校分について、今年度補正が成立した後発注ということになっておりますので、今後発注することとしております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） すみません。今、中学校のほうを進めていると思うのですけれども、そちらのほうの入札は順調に進んでいるのかを伺えればと思います。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課、大久保課長。

○学校施設課長 学校施設課でございます。

中学校のほうにつきましては、業種ごとに電気や換気、建築に分かれた形で発注しているところなのですけれども、一部は入札不調と承知しているところがございますので、再発注するなどして取り組んでいるところでございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 状況が分かりました。ありがとうございます。

では、私からの質問は以上です。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

申し訳ございません。先ほどの答弁の中で、私がパソナ株式会社と申し上げてしまったのですが、株式会社パソナが正しい表記でございました。失礼いたしました。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員、よろしいでしょうか。

○委員（渡邊惟大君） 大丈夫です。ありがとうございます。

○委員長（阿部 智君） それでは、麻生委員。

○委員（麻生紀雄君） 一問一答でお願いいたします。

金網一男こども若者育英基金ですけれども、これは株主、配当金が運用資金にもなってくると思うのですけれども、これはいつ頃のタイミングからなのかと、今幾らを想定されているかを教えてください。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

まず、株式のほうですけれども、受入れ、株式の譲渡のスケジュールは今後寄附者と調整していきたいと考えておりますので、配当金の入る時期につきましては、未定でございます。

配当金の見込みですけれども、約9,000万円を見込んでおりまして、これは、令和5年の9月と令和6年3月の配当金の実績を参考にして算出しているものでございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 麻生委員。

○委員（麻生紀雄君） こちらの企業はとても企業実績がよくて、2024年度からかなり配当金が増えている、倍ぐらいになっているように見受けられますけれども、この辺の想定範囲で今後事業をやっていくのか、それを超える範囲の、これは買い時によっては事業規模が変わってきてしまうのか、考え方だけ教えてください。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

基本的には、基金の財産の運用益で事業化をすることを考えておりまして、今のところ見込んでいるのは、直近の実績の9,000万円ぐらいで考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 麻生委員。

○委員（麻生紀雄君） 以上です。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） 一問一答でお願いします。

こども未来局ですけれども、東京都は第1子まで無償化をしていると聞いておりますので、また、本市が第1子まで無償化をした場合の試算はしているのか、教えてください。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

昨年度時点で恐縮でございますけれども、令和5年度の児童数を基にして算出した結果といたしましては、本市におきまして保育料の第1子も含めた無償化を実施する場合には、年額約34億円程度を要するものと算定しております。

なお、令和5年度時点の児童数を基にした試算でございますので、現時点では児童数が増えておりますので、さらに経費のほうは大きくなっているものと思われまして。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） 今回の負担軽減策は、本来は国がやるべきだと私は考えておりますけれども、国への要望を今後とも継続していくのか、お聞きいたします。

○委員長（阿部 智君） 幼保運営課長。

○幼保運営課長 幼保運営課でございます。

委員御指摘のとおり、本来であれば国の責任におきまして一律の基準を設けて実施すべきものと考えておりますので、今回の負担軽減策の実施後におきましても、国への要望は継続してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） それから、金綱氏の株でございます。これは今、1,563円で、170株。株ですから、これは変動します。もしかしたら会社がなくなってしまうかもしれない。今のうちに、この26億円を売却して確保したらどうなのですか。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

今回の基金につきましては、株式の配当金など財産の運用益で事業を実施する基金でございます。基本的に株式の売却は想定しておりません。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） それでは、会社が万が一の時には、もうその基金はなくなるということですね。

○委員長（阿部 智君） 御答弁をお願いいたします。こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

現金の寄附もございますので、その辺の運用益などもありますので、会社が倒産してすぐにこの基金をなくすというものではございませんけれども、基本的には財産の運用益で事業化していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） それは株式ですから、今はいいけれども、いつどうなるかは分からない。将来的にお子さんにくれたのですから、やはり今のうちに26億円の基金を貯めておいて、それでやればいいと思ったのですけれども、そのような考えなら結構でございますので、この基金を運用していただきたいと思えます。

それから、教育委員会です。体育館の中の冷房ですが、夏場のとても暑い中、子供たちには本当にいいので、早くやっていただきたい。体育館は大きいですよ、これは効率や、それに見合ったような冷房環境にするのですか。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 学校施設課でございます。

今おっしゃられたとおり、学校の体育館ですけれども、天井が高くて広いという特徴がございますので、原則として室内機については、キャットウォークの下に設置することとしております。冷房時には冷気が自然に下降する特性を生かしまして、冷房効率を高めることが可能となっております。

さらに、必要に応じてサーキュレーターを併用しまして、室内の温度分布の均一化を図ることとしております。このほか、断熱されていない体育館については、併せて断熱工事を行う予定としております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） 断熱工事は、ほとんどやっていないのですか。小学校、中学校も断熱をしていないのではないですか。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 一部大規模改修などを行っているところについては、あるいは新設校ではやっているのですけれども、ほとんどがやっていないので、今回のエアコンの整備に合わせて断熱工事を行う予定としております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） 早くやるようにお願いします。

それと、エアコンはやはり学校設備ですので、それはいろいろなことで学校開放もあるし、生徒のこともあるし、そのような計画はしているのですか。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 今回のエアコンの施工の時期なので、総合体育大会に向けた練習期間や大会の時期を考慮しまして、原則として8月から順次施工を開始する予定としております。

また、卒業式での使用に支障が出ないように、2月上旬までに工事を完了させるスケジュールで進めていく予定としております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） 想定では何月頃からやる予定なのですか。

○委員長（阿部 智君） 学校施設課長。

○学校施設課長 学校施設課でございます。

8月頃から工事を始める予定としています。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） 分かりました。

それから、生涯学習センターです。消費税の引上げ以外……これはまだですか。

○委員長（阿部 智君） これはまた、この後。次のときでお願いいたします。宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） では、エアコン、これを早急にやってもらいたいという私たちの要望がございますので、お金がなければ国に行ってきますから、早急にやっていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

○委員長（阿部 智君） ほかに御発言はございませんか。

ほかに御発言がなければ、質疑を終了いたします。

次に、本議案に対する賛否表明、意見要望があれば御発言願います。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 最初に、保育料の負担軽減対策についてですが、議案質疑でも示されましたけれども、保育料の負担軽減対策について、既にこの委員会でも、先ほど細かなお話がありました。進んでいる政令市、それから近隣市の話もあったと思います。年齢制限を撤廃して第2子以降を無償化している自治体が政令市で7市あって、近隣市でも市川市、市原市ということでした。

今回の千葉市の保育料の負担軽減策、多子軽減の拡充は前進だと思っておりますし、私ども共産党でも述べてきたところだと思っております。

日本経済新聞の共働き子育てしやすい街ランキングを、今回椛澤議員が代表質問で紹介して

いましたけれども、千葉市は順位を下げて43位になっていました。

そうであれば、保育料の負担軽減策でも、第2子までの無償化を早期に実現をしてもらいたいということを求めていると思います。

あともう一つ、学校体育館の冷暖房設備整備についてですけれども、中学校と特別支援学校、その他を含めて来年度末までに整備を完了するというので、よかったと思います。

今回、小学校は当初の想定よりも1年前倒しをして、令和11年度までには全校整備完了を目指しているということだと思っています。令和9年度の整備目標を30校から54校に増やしていることも評価されますが、ただ、整備の完了が決して早いとはやはり思えなくて、暑さのために体育館で授業を制限することが続くと、子供たちの学ぶ機会を奪っていると言われても仕方がないかと。

国の交付金が今、名前が変わって空調設備整備臨時特例交付金になって、令和15年まで延長されたということなのですが、15年までいいからということで、期間があるからと先延ばしにしないで、ぜひ大いに活用してもらって、体育館へのエアコン設置を早く進めていただきたいと思います。今回の補正については賛成したいと思います。

以上です。

○委員長（阿部 智君） ほかに御発言がなければ採決いたします。

お諮りいたします。議案第71号・令和7年度千葉市一般会計補正予算（第1号）中所管についてを原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○委員長（阿部 智君） 賛成全員、よって、議案第71号は原案のとおり可決されました。

説明員の入替えを行います。御苦労さまでした。

[こども未来局説明員入替え、教育委員会退室]

議案第76号審査

○委員長（阿部 智君） では、次に、議案第76号・千葉市新日本建設・金網一男こども若者育英基金条例の制定についてを議題といたします。

委員の皆様は、サイドブックスのしおり1番、こども未来局の議案説明資料をお開きください。

それでは、当局の説明をお願いいたします。こども未来部長。

○こども未来部長 こども未来部、山口でございます。どうぞよろしく願いいたします。恐れ入りますが、着座にて御説明させていただきます。

議案第76号・千葉市新日本建設・金網一男こども若者育成基金条例の制定について御説明をさせていただきます。

こども未来局議案説明資料の9ページをお願いいたします。

初めに、1、目的でございますが、困難な状況にある子供や若者が健やかに成長し自立すること等を支援するため、基金を設置するものでございます。

2、経緯でございます。新日本建設株式会社の取締役会長である金網一男氏が代表を務めます公益財団法人新日育英奨学会では、平成23年9月の設立以降、児童又は青少年の健全な育成を目的に事業を実施し、給付型の奨学金制度を設けまして、優秀でありながら経済的な理由に

より学業を継続することが難しい若者を支援されてきました。高等教育の修学支援新制度が国で創設され、今後も公的支援制度の充実が見込まれる中、財団の設立意義が達成されつつありますことから、金綱一男氏より、財団で保有する基本財産、こちらは現金及び新日本建設株式会社の株式となりますが、その基本財産と個人所有の財産を市に寄附し、家庭環境その他困難な状況にある子供や若者を支援するために、また、子供や若者の可能性を広げるために有効に活用していただきたいと大変ありがたいお申し出がございました。

本市といたしましては、本年4月に施行いたしました千葉市こども・若者基本条例に基づきまして、全ての子供や若者が自分らしく健やかに成長し自立するための支援を推進してきているところでございますが、さらに、こども・若者施策を推進するため、市の積立金額も併せて新たな基金を設置するものでございます。

3、基金の概要でございますが、補正予算で先ほど御説明させていただきました内容と同様でございますので、割愛させていただきます。

次のページをお願いいたします。

4、基金の活用でございますが、困難な状況にある子供、若者が、自分らしく健やかに成長し自立するための支援及びより豊かな時間を過ごすための支援を行いますとともに、こどもや若者が可能性を広げるための支援を行うものでございます。

5、今後の予定につきましては、先ほどの補正予算で御説明させていただきましたとおりでございます。

6、施行期日は、公布の日でございます。

説明は、以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

それでは、質疑等がございましたらお願いいたします。吉川委員。

○委員（吉川英二君） 1問だけすみません。

この基金の使い道について、市長も発信しているところでありますけれども、今回資金の活用のところを書いてありますけれども、不登校対策は検討しているのかどうか、教えてください。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

基金を活用した具体的な事業につきましては、今後検討することとしております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 吉川委員。

○委員（吉川英二君） 以上です。ありがとうございます。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 一問一答です。

先ほど補正のところでお話があったので、重なるかもしれませんが、お願いいたします。

最初に、個人名で基金を創設することについて伺いたいと思います。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

本基金につきましては、金網氏個人からの寄附金の運用益を主な財源の一つとして事業を実施する予定であることから、その内容を分かりやすくするため、寄附者の意向も伺い、本市で検討いたしまして、基金の名称に付したものでございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 基金なのですから、千葉市が株主になるのでしょうか。千葉市が負う責任が発生することがないのか、伺います。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

株主につきましては、千葉市になる予定でございます。それと、株主の責任でございますけれども、出資した金額以上に責任を負わないという有限責任であることから、寄附をしていた株式を所有することで生ずる責任はございません。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 株式の配当金については、先ほど9,000万円とお答えがあったので、いいです。

基金の運用額ですけれども、支援する想定、例えば、何人に、1人当たりどれくらいまでなどという対象、それから継続して運用されるのかについて伺います。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

基金による活用事業につきましては、基金の活用方針に基づき、詳細を含めまして、今後検討することとしております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 困難な状況にあるこどもや若者という判断基準はどのようにされますか。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

基準につきましては支援内容によって異なると考えておりますので、今後活用事業を検討していく中で、併せて検討してまいります。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 支援内容がいろいろありますけれども、例えば、奨学金の方であれば、授業料や住宅費などいろいろあるかと思うのですが、そちらのほうはどうでしょう。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

基金を活用した具体的な事業につきましては、今後検討していくこととしております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） お手本にする自治体はありますか。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

想定している自治体はございませんが、活用事業の検討に当たりましては、他自治体の取組事例も参考にさせていただきながら検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 誰が認めると支援の対象となるのか、伺います。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

対象につきましては市で決定いたしますが、基金による活用事業につきましては、今後検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 今後のスケジュール、支援内容、基準の設置などは、どこで決められるのか、伺います。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

今後の寄附の受入れに関するスケジュールにつきましては、寄附者と協議し、決定していきたいと考えております。

また、支援内容等活用事業につきましては、市において予算編成過程の中で決定していくこととしております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） ありがとうございます。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 1問だけなのですがすけれども、やはり支援対象である子供や若者の声を聞くためにも、こういった基金ができたことを周知していくことも大事かと思うのですけれども、こういったことを周知していく予定はあるのでしょうか。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

基金の設置につきましては、今後事業化も検討していく段階ですので、それぞれの活用事業が決まった段階で、周知方法につきましても、併せて検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） ありがとうございます。

質問のほうは以上です。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。伊藤委員。

○委員（伊藤隆広君） 一問一答でお願いいたします。先ほどの議案との関連もあって重複す

る部分もあると思うのですが、改めて少し確認をお願いしたいと思います。

千葉市新日本建設・金網一男こども若者育英基金条例をつかって、そこで株式配当で運営して、そこから入ってきたもので今後いろいろ事業をやっていくという話だと思うのですけれども、これは改めて考えると、やはり配当というのは、今後どうなるかは分からないところがあるわけです。そこに対して、現時点で千葉市はどのような見通しを持っているのか、また、方向性などがあれば教えていただけますか。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

配当金の見通しですけれども、先ほども少し御説明させていただいたのですが、直近の実績等を参考にしながら、9,000万円という見込みで今、考えているのですけれども、長期的な視点で数値を算出するのがなかなか難しいところがございますので、状況を把握しながら予算編成過程の中で検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 伊藤委員。

○委員（伊藤隆広君） 今後、この基金から入ってきたものでいろいろ事業をやっていく中で、配当の部分が下がってしまうと、そこから活用事業の財源が揺らいでくるということだと思うのです。これは自主財源に見えて、依存している財源のように見えます。

もし、配当が下がってしまった場合の対応策を千葉市で考えておくべきだと思うのですが、どのような想定をされているのか、伺えますか。

○委員長（阿部 智君） こども企画課長。

○こども企画課長 こども企画課でございます。

実際に配当金が見込みより下がってしまった場合は、財政当局とも協議しながら対応のほうは考えていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 伊藤委員。

○委員（伊藤隆広君） 質問は以上でございます。

○委員長（阿部 智君） ほかにございますか。

ほかに御発言がなければ質疑を終了いたします。

次に、本議案に対する賛否表明、意見要望がございましたら御発言を願います。伊藤委員。

○委員（伊藤隆広君） 今、質問させていただいて御答弁いただいた中で、もし、配当が減った場合は、その都度財政当局と調整するというお話だったと思うのですけれども、そうすると、この基金を財源とした事業の継続性にクエスチョンがつくと思うのです。

ですので、やはり配当が見込みよりも入ってこなかった場合の想定、対応策は取っておく必要があると思いますので、ここは強く検討いただくことを要望させていただきたいと思います。

議案については賛成いたします。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

ほかにございませんか。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 幾つか質問させていただきまして、基金の活用の方針について、困難な状況にある子供、若者が、自分らしく健やかに成長し自立するための支援及びより豊かな時

間を過ごすための支援のほか、子どもや若者が可能性を広げるための支援に活用するとされています。非常に広い範囲で、どれにも使えるということだと思っておりますが、ただ、この基金を活用してどのような事業に充てていくかの詳細については、具体的な事業についてはこれからということで、まだこれからです。

基金の元本はそのままにして、株の運用益の年間1億円、9,000万円程度の事業費を想定して事業に活用ということになってはいますが、先ほども意見がありましたが、収益金が一定で安定的に生まれる保証がないということなので、その都度、収益金のある、なしで事業の内容に影響を受けることにならないのか、不安はあります。

共産党の議案質疑でも、これまで行われていた奨学金の新規募集を停止されていますと。新たな決定の予定もありませんとなっていたので、今まで奨学金が果たしてきたものもこの基金の中で当然賄われるような目的にもなると考えています。

給付型の奨学金など継続して受ける必要がある学生たちが困ることがないようにお願いしたいと思います。

以上です。この議案には賛成です。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。麻生委員。

○委員（麻生紀雄君） 賛成の立場からの発言でございます。

先ほどの答弁の中で、千葉市が株主になるということの答弁がありましたことは、四季報にも千葉市と出てくるのかと思うのですが、こういった例はほとんどない事例でございますので、しかもこれだけの株式を千葉市が保有するということは、株価にも大きく影響する要素でもございますので、この辺の運用あるいは条例、株式の扱いについてはしっかりと検討していただいて、また、安定的に、先ほどいろいろと御意見を頂く中で、配当金運用だけではなかなか安定性がない部分もございますので、そこも見据えた上で、この事業が継続できるようにしっかりとこの条例を制定していただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） まず、この議案については、賛成の立場です。

先ほどほかの委員から指摘があったように、安定的な運用をしていくために、株式のままです持っておくかどうかという部分も含めて検討していただきたいと思っております。

それで、この事業基金を有効に活用する規定、また、それを市民の人々に知ってもらうことによって、そのような寄附文化を醸成することにもつながっていくことを期待したいと思っておりますので、こちらの基金の有効活用を期待しております。

以上です。ありがとうございます。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。

ほかに御発言がなければ採決いたします。

お諮りいたします。議案第76号・千葉市新日本建設・金綱一男子ども若者育英基金条例の制定についてを原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○委員長（阿部 智君） 賛成全員、よって、議案第76号は原案のとおり可決されました。

それでは説明員の入替えを行います。御苦労さまでした。

[子ども未来局退室、教育委員会入室]

議案第85号審査

○委員長（阿部 智君） 次に、議案第85号・千葉県生涯学習センター設置管理条例の一部改正についてを議題といたします。

委員の皆様は、サイドブックのしおり2番、教育委員会の議案説明資料をお開きください。それでは、当局の説明をお願いいたします。生涯学習部長。

○生涯学習部長 生涯学習部でございます。よろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

議案第85号・千葉県生涯学習センター設置管理条例の一部改正について御説明いたします。

議案書は65ページですが、議案説明資料で御説明させていただきます。

議案説明資料の5ページをお願いいたします。

まず、1、改正の趣旨ですが、次期指定管理者の選定に向けての規定料金の見直しを行い、条例の一部を改正しようとするものでございます。

なお、料金改定により大幅な増額とならないよう、改定率については、物価高騰を踏まえ、現行料金のおおむね1.3倍の範囲で改定をいたします。

次に、2、改正の概要ですが、公共施設使用料等設定基準に基づく利用料金の算定結果を踏まえ、千葉県生涯学習センターの使用に係る利用料金の上限額を、ホールについては5万3,210円から6万9,170円に、映像音声加工編集ブースにつきましては、3,250円から4,220円にそれぞれ改正するものでございます。

最後に、3、施行期日ですが、令和8年4月1日となります。

説明は、以上でございます。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

それでは、質疑がございましたらお願いいたします。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 一問一答でお願いします。

今回、生涯学習センターについては、ホールと映像音声加工編集ブースのみということで改定することになっていますが、それについて伺いたいと思います。

○委員長（阿部 智君） 生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 生涯学習振興課でございます。

今回、受益者負担額につきまして再算定を行いました結果、ホール及び映像音声加工編集ブースの料金のみ改正する必要が生じたので、今回改正をお願いしているものでございます。

なお、その他の諸室につきましては、受益者負担でお願いしている金額を現行の料金で確保できる見通しとなりましたので、据え置きとさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 今回いろいろなところが値上げの対象で議案に載っていますけれども、生涯学習センターの利用料改定によって利用される市民の方の影響について伺いたいと思います。

○委員長（阿部 智君） 生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 料金改定をこれまで控えておりましたことにより、市として施設利用者

にお願いしたい負担額と現行料金等に乖離が生じている状況でございます。

この不足額につきましては、これまで市民の皆様から納めていただきました税金で補填している状況でございます。そのため、条例改正によって施設利用者の方への御負担はおかけすることになりますが、受益者負担の適正化や物価高騰下においても、引き続き、施設を適正に運営する観点から、料金改定はやむを得ないものと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 以上です。

○委員長（阿部 智君） ほかにございますか。宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） 一問一答です。

消費税率の引上げ以外で、実質何年ぶりの改定になるのか教えていただけますか。

○委員長（阿部 智君） 生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 生涯学習振興課でございます。

生涯学習センターにつきましては、消費税率改定に伴う改正を除きますと、平成18年度に改正して以降、約20年ぶりの改正となります。

また、平成18年度の改正は、開館時間の延長に伴うものでございまして、実質的には平成13年の開館以来の改正となります。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 宇留間委員。

○委員（宇留間又衛門君） 分かりました。以上です。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 1問なのですけれども、現在のホールと映像加工ブースの利用状況と利用率を伺えればと思います。

○委員長（阿部 智君） 生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 生涯学習振興課でございます。

ホールの利用率は、令和6年度で57.67%、映像音声加工編集ブースは、同じく62.68%でございます。

以上でございます。

○委員長（阿部 智君） 渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 分かりました。ありがとうございます。

質問のほうは、以上です。

○委員長（阿部 智君） ほかに御質疑はございませんか。

ほかに御発言がなければ、質疑を終了いたします。

次に、本議案に対する賛否表明、意見要望がございましたら御発言願います。吉川委員。

○委員（吉川英二君） 本議案に関しては、会派としては賛成でございます。

1点だけ要望で、ここには載っていないですけれども、施設的に1階にアトリウムガーデンがあるのですけれども、これは公共機関以外、つまり民間の貸出しを今、行っていない状況だと認識しているのですけれども、今回料金値上げに際して、市の新庁舎にも市民ヴォイドが設定されることもありますし、貸出し稼働率が減ることが想定されるので、ぜひアトリウムガー

デンの民間への貸出しも検討していただくことを要望します。

議案としては賛成です。以上です。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 今回指定管理者の切替えを迎える施設で、値上げ見直しが行われていると思うのですけれども、一斉に料金改定となって、生涯学習センターについては、ホールと映像ブース以外は検討して、料金を上げないと。これはよかったと思うのですけれども、そもそも千葉市の施設で、特に公的な役割を果たす存在である施設に受益者負担を負わせる考え方というのはどうなのかということを思います。

結局引き上がったことで、お金のあるなしで利用の幅を狭めることにつながるものではないのかと。特に、今、何でも値上がりして節約が迫られる世の中ですので、文化的に生涯学習センターを利用されている方たちが我慢することになれば、先ほど利用率が下がるかもしれないという不安の声もあったと思いますし、文化施設の存在が薄れてしまうので、より多くの方に開かれた施設として引き続き利用していただくために、負担増はするべきでないと考えますので、この議案については賛成いたしかねます。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。ほかにございませんか。渡邊委員。

○委員（渡邊惟大君） 値上げについては仕方がないところがあるのかと思う一方で、やはり利用してくれている方に対する説明を丁寧にしていただいて、理解を得ていただきたいと思います。

意見のほうは、以上です。

○委員長（阿部 智君） ほかにございませんか。

それでは、お諮りいたします。議案第85号・千葉市生涯学習センター設置管理条例の一部改正についてを原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○委員長（阿部 智君） 賛成多数、よって、議案第85号は原案のとおり可決されました。

以上で案件審査を終わります。

説明員の方は御退出願います。御苦労さまでした。

[教育委員会退室]

年間調査テーマの設定について

○委員長（阿部 智君） 次に、所管事務調査の年間調査テーマの設定について御協議いただきたいと存じます。

第3次議会運営活性化推進協議会で、決定事項に基づきまして、委員の皆様から希望する年間調査テーマ等について提案書を提出いただき、御意見等を取りまとめた一覧表を事前にお送りさせていただいております。

しおり5番を御覧ください。

本日は、当委員会の年間調査テーマについて、所管事務調査事項提案一覧表を基に、皆様から提案するテーマ、調査理由について御説明いただいた後、協議を行いたいと思います。

それでは、一覧表に記載の順にお願いいたします。

まず、吉川委員より御説明をお願いいたします。

○委員（吉川英二君） 1番、3番は会派として出しているのですが、共通ということで、私が説明させていただきます。一応3つ、ここに記載のとおりです。

1案、2案に関しては、理由も同じなのですが、若葉区で発生した事件を受けて、早急に取り組まなければいけない、特に本当に今年度はこれに取り組まなければいけないのではないかということで、生命（いのち）の安全教育について、少し言い方がまた違ってはいますが、青少年育成についてを出させていただきました。

あともう一個、3つ目は朝の小1の壁ということで、小学校1年生で限定されるところで、少しどうかと思っているのですが、昨今現場でもかなり要望としてもお伺いしていますし、特にこども家庭庁が全国の市町村でこの実態調査をしているところで、本市においても課題解消に向けた取組が必要ではないかということで、一応この3案を掲げさせていただきました。

最終的には委員長、副委員長の判断に任せたいと思っております。

以上です。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

次に、渡邊委員、お願いいたします。

○委員（渡邊惟大君） インクルーシブ教育ということで、出させていただきました。特別支援教育も含めて、千葉市においても、特別支援教育は以前よりどんどん充実している状況にあると認識しております。先々週も、私は千葉市立の養護学校に伺ったのですが、生徒の皆さんが生き生きと学ばれていて、その方に合った適切な教育が行われている印象を受けました。

一方で、例えば、国連のほうからも、インクルーシブ教育を進めるような勧告も出ていますので、国連の勧告が全てとは思わないのですが、特別支援教育をする一方で、障害のある人とそうではない人が分けられてしまう、接触する機会が減ってしまうと、なかなか大人になってから障害のある人とない人が一緒に生活することがやはり難しくなってしまうところもあるのかと思いますので、特別支援教育、それぞれの障害に合わせた教育を充実させる一方で、障害がない方ともっとどのように関わっていくのかとか、どう交流していくかを検討していければいいのではないかと、提案させていただきました。

ですが、テーマについては、最終的には委員長、副委員長に一任で考えております。

以上です。ありがとうございます。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

青山委員におかれましては、会派で同じということで承りました。ありがとうございます。

それでは、伊藤委員。

○委員（伊藤隆広君） 提案といたしましては、国際社会に対応した取組ということで提案をさせていただきました。

近年、グローバル化進展に伴いまして、本市において外国人住民の数が非常に急速に増加しているということでございます。

この状況は、学校や保育所などの現場において、言語や文化の違いなどによるコミュニケーションの障壁や、外国人の児童、生徒の学習支援ニーズへの対応などの課題が生じている状況です。

一方で、国際競争力の強化、また、地域のグローバル化を背景といたしまして、学校教育に

おける国際化への対応も非常に重要な課題となっております。

これには、外国語教育の充実や、国際的な視野を持つ人材を育成していく、こういったことが含まれております。

こうした状況を踏まえて、本市として、外国人児童・生徒への支援策及び国際人材の育成、こうした具体的な取組について、本市の厳しい財政状況もあるのですが、こういったところを踏まえながら調査をするのがよいかということで提案をさせていただきました。

最終的には、正副委員長に一任いたします。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

続きまして、松坂委員、お願いいたします。

○委員（松坂吉則君） 今、伊藤委員からお話もありましたが、私も昨今のグローバル化が進む中で、教育においてもグローバルな視点が重要になってきていると思います。

例えば、投資教育にしても、英語の教育にしても、かなりグローバルに教育環境を整えていかないと、今後の対応ができなくなるのではないかと考えております。

そういう意味では、その点を調査内容にしながら、今後の我が市におけるグローバル教育の充実を図っていきたいと考えておりますので、そのような形でできればと思いますが、最後は正副委員長に任せます。

以上です。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

続きまして、麻生委員、お願いいたします。

○委員（麻生紀雄君） 私は、アフタースクールの取組の状況について書かせていただきました。

本市としては、小学校の放課後において、保護者の就労等にかかわらず、希望する全ての児童に安全・安心な居場所と多様な体験活動の機会ということでアフタースクールを進めておりますけれども、今ようやく半分ぐらい進んでいく中で、かなり講師不足や、本来の目的と随分ずれているところが出てきている状況でございますので、こういった実態調査をすることによりまして、今後残りの半分を設置していく中で、アフタースクールの取組をさらに活性化していただきたいということで、調査ということで今回挙げさせていただきました。

今出てきているいじめやグローバルなどという観点も、アフタースクールの放課後では、実際、そういった活動も含めて取り組むことによって改善されていくことにもなってくると思うので、一部共通するところもあるかと思いますが、最終的には委員長、副委員長にお任せいたしますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

続きまして、盛田委員、お願いいたします。

○委員（盛田眞弓君） 不登校対策、学びの多様化学校の在り方についてをテーマにしてはどうかと思っております。

理由ですけれども、子供の不登校は、この10年で3倍と急激に増えていまして、小学校の低学年でも増えています。

子供や親など、不登校に悩む当事者が安心できる支援の取組について、これは一つ大事だと思うのと、それから2つ目に不登校の要因は幾つもあると思うのですが、学校が忙し過ぎて疲

弊している教員や、それから学校に行きたくない子供など、行政として現場の声にどのように向き合って、どうしたら課題の解決が図れるのかといったことを調べることが必要かと。

3つ目ですけれども、2030年度に千葉市でも開設を予定している学びの多様化学校に向けたこの時期にすべきことなど、皆さんでお話しできるといいかと。

県内でも2つぐらい、中学校と小学校と、もう既に学びの多様化学校を始めたところがありますので、視察の場所や政令市で進んでいるところなども調査してはどうかと思っています。

以上です。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

続きまして、宇留間委員、お願いいたします。

○委員（宇留間又衛門君） 今日のNHKでも子供の英語ということでやっておりましたので、やはりそのようなことで高めていかないとこれからはついていけないのではないかと思いますので、そのような方面をひとつ重点的にやっていただきたいと思っています。グローバル化もしておりますから。それこそ私も今日テレビを見て初めて、市川市かどこかで、相当お金をかけて子供にやっているということでございますので、そのようなことを私たちも見ていきたいと思っています。

あとは委員長、副委員長にお任せいたします。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

それでは、次に岡崎副委員長、お願いいたします。

○副委員長（岡崎純子君） 私は、テーマとしまして、こども・若者基本条例施行に際した具体的施策についてということで、大分ファジーな書き方ではございますが、これはなぜかと申しますと、この委員会の活動の幅を持たせるといいますか、自由にいろいろなことをテーマとして扱ってイケたらという思いを込めて、この条例が発布した年度であるということでふさわしいものを、あまりピンポイントで活動の内容を狭めることなく、いろいろなテーマを追ってイケたらということで、このように記しました。

そういう意味では、今いらっしゃる委員の皆様から挙げていただいているテーマは、全て該当すると感じております。全て結局つながっていると感じました。

いじめ問題も不登校も、アフタースクールの在り方についても、グローバルもインクルーシブも全てつながっていると感じますので、委員長の下で皆様から挙げていただいた点も精査できればと考えております。

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

最後に、私より御説明いたします。

これは、私は委員長という立場ではなくて、この委員会の委員として出すようにということでございましたので、私の委員としての意見でございます。

私は、テーマとしまして、グローバル化の進展に伴って、所管でございます子育て、そして教育の分野において、地方自治体にどのような負担がかかっているか、その解消についてどのように対応していくかということテーマに考えておりました。

神谷市長におかれましては、指定都市市長会議で外国人住民との共生社会の実現に向けた指定都市市長会要望を取りまとめ、そして、政府に要望を行われております。この内容を逐一御説明するのは長くなりますので割愛いたしますが、本来この外国人との社会統合に関する問題

につきましては、国がきちんと対応し、そして予算化までしていかなければいけません。

しかし、もう皆様も御存じのとおり、ほぼ自治体に丸投げし、そして、予算についても、我々自治体に大きな課題、そして負担を求めていることに対して、非常に強い憤りを感じているところがございます。これをやらないことはないわけでございますが、きちんと対応していかなければ、千葉市においての自治体運営にも大きな課題が生じるものと思っております。

そこで、今回のテーマを提案させていただいた次第でございますので、私の委員個人の意見として述べさせていただきたいと思っております。

それでは、各委員の御提案等を踏まえまして、今期委員会で調査したいと思われるテーマがございましたら、御意見願いたいと思っておりますが、皆様先ほど頂いた御意見の中で、非常に多様な意見がありまして、どれも本当にすばらしい御提案だったと思っております。

皆様から正副委員長の御一任ということをお願いしておりますので、年間調査テーマの設定につきましては、正副委員長に御一任いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（阿部 智君） ありがとうございます。

それでは、テーマが決まり次第、委員の皆様にご報告させていただきたいと思っております。

なお、決定した年間調査テーマにつきましては、6月25日水曜日の本会議で委員長が報告することになっておりますので、御承知おきください。

そして、今回、常任委員会の委員会視察を行っていきます。通常、委員会視察におきましては、所管事務調査の内容を反映したものになっていきますが、私としましては、皆様から頂いたテーマで議論をしていくような案にふさわしいものがありましたら、そこにも入れ込みたいと思っておりますので、それは相手都市、視察受入れ都市様の御事情もあると思っておりますので、そのあたりは御了承いただきたいと思います。

委員会視察について

最後に、委員会視察について御協議願います。

年間調査テーマのほか、所管事務調査事項提案一覧表などを参考に、所管局の重要な施策を視察したいと考えております。

視察先につきましては、御意見のある方はございますでしょうか。

（「任せます」と呼ぶ者あり）

○委員長（阿部 智君） よろしいでしょうか。それでは、視察先につきましても先方の都合もございますことから、正副委員長に御一任いただきたいと思います。

次に、視察の日程でございますが、正副委員長案を申し上げます。

本年10月8日水曜日から10月10日金曜日の2泊3日間でございますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（阿部 智君） よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、視察の日程は、10月8日から10月10日の2泊3日といたします。

以上で委員会視察についての協議を終わります。

以上で教育未来委員会を終了いたします。御苦労さまでした。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

午前11時28分散会